

# 平成24年度 地域ケアプラザ事業報告書

## 1 施設名

横浜市戸部本町地域ケアプラザ

## 2 事業報告

### 地域の現状と課題について

西区内の第一地区の一部・第二地区全域・第五地区の一部とみなとみらい地区を担当しています。みなとみらい地区や国道一号線沿いの地域では、近年マンションが増えて子育て世代が増加しています。一方、古くから住み続けている住民では、高齢化が進み、また地域の担い手にも高齢者が増えてきています。

高齢者、子育て世代、障害のある方など、地域にお住いの多くの方々に、必要な情報やサービスが届くように取り組んでまいりました。

- ・高齢者には、介護保険や介護予防に関するサービスのご利用や情報をお伝えするために、積極的に地域に出向き情報提供を行いました。
- ・子育て世代には、遊び場の提供や子育ての仲間作りなどの事業を行い、多くの参加者がありました。
- ・団塊の世代では、地域での仲間作りや次の地域の担い手育成、ボランティア養成のために「しなくちゃクッキング」を開催するとともに、そば打ち教室の「イケ麺s」を継続支援しました。
- ・みなとみらい地区の住民の方にもケアプラザの存在、役割を知っていただけるようにラジオ体操を開始し、広く案内を行いました。

各世代が、元気な人もそうでない人も、障害のある人もない人も、高齢者も若い人も、互いに認め合い、助け合っていけるような地域を実現できるように、「地域福祉保健計画」の推進役、支援チームの一員として取り組みました。

### 施設の適正な管理について

#### ア 施設の維持管理について

様々な世代、特に高齢者や乳幼児に多くご利用いただく施設として、何よりも安心して利用していただけるように、施設や設備の管理を定期的に行い、不具合が発見された場合は早急に修繕いたしました。

また、気持ちよくご利用いただくために、日々の清掃を丁寧に行い、施設周りの植え込みの手入れや水やりも定期的に行いました。

その他、感染症などの対策として、消毒液で手すり等を毎日拭き、入り口には消毒液を常備し来館者の感染予防に努めました。また、受付に花を飾ったり、掲示板を季節ごとに入れ替えたりして、皆様に親しまれる施設作りをしてまいりました。

#### イ 効率的な運営への取組について

横浜市内に18か所のケアプラザを運営する法人本部と連携を図りながら、事務等の業務の効率化を図りました。また、各種物品の購入や機器のレンタル等に関しても、法人本部や所長会の情報を利用して経費の削減を図りました。24年度は通所介護の送迎車を法人本部の電子入札によりレンタルしました。

#### ウ 苦情受付体制について

法人の定める苦情解決規則に則り、地域ケアプラザにおいても苦情解決担当者、苦情解決責任者を設けており、ご利用者からのご意見、ご要望、苦情等について迅速に誠意をもって対応いたしました。また、法人でも公正・中立な立場からあつせん、調整を行う第三者委員会を設置し、苦情の適正な解決に向けて取り組めるような体制を整えております。皆様からお寄せいただいた苦情は毎月、サービス向上委員会を開催して苦情の分析を行い、その結果は会議において職員に周知し、再発防止などに活かしました。24年度は当ケアプラザに頂いたご意見を法人本部を交えて解決に向け取り組んだ案件が1件ありました。

ご意見や苦情から多くを学び、お客様のお気持ちに添ったサービスが提供できるように全職員が取り組んでまいりました。

#### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

地域ケアプラザでは地震、火災等の災害時の備えとして、「防災対応マニュアル」「消防計画」、首都圏の大地震に備えた「防災マニュアル 震度7に備えて」を策定しております。それらは、会議等で周知を図るとともに、実際に活用できるように体制を整えました。

また、年2回の防災訓練を通して、緊急時に職員がマニュアルに則った適切で迅速な動きがとれるように備えました。今年度も2回の訓練うち1回は複合施設である戸部ハマノ愛生園と合同で行いました。戸部ハマノ愛生園とは日頃からよい関係を結び、日常的にまた非常時も協力できる体制が整っております。

その他に、特別避難場所として応急備蓄品の管理を適正に行ってまいりました。また、法人としても職員分のヘルメットや食糧、簡易トイレ等の備蓄品を整備しました。

#### オ 事故防止への取組について

通所介護事業等におけるサービス提供については、毎朝のミーティングや月1回のスタッフ会議などでお客様の状況、情報を共有して、事故の防止、削減に努めました。さらに、リスクマネジメントや介護法などを学ぶことによって、事故を減らすように取り組み、「ヒヤリハット」事故の振り返りにより事故の削減を図りました。

個人情報漏えい事故を防ぐために、研修を実施するとともに、日ごろから職員同士が注意喚起を行い、万一の事故に備えて個人を特定できない工夫を継続しました。

#### カ 個人情報保護の体制及び取組について

法人で定めた個人情報保護規程に則り、個人情報の管理に関する担当者、責任者を定め、また、法人本部で行われる個人情報保護・情報セキュリティ研修に職員を受講させ、全職員に向けて伝達研修を行いました。

毎日の業務の中における個人情報の取り扱いとしては、契約書・記録等の書類は、施錠可能な保管庫に保管することとし、パソコンのデータはセキュリティ管理を行い、パスワードの使用を徹底しました。特に紛失しやすいUSBは、取り出し時と収納時には対応者名と時間を管理簿に記載する旨の管理を徹底しましたが、年度途中から法人本部の方針で、情報保護を徹底するためにUSBの使用を止め「NAS」での管理といたしました。またパソコン本体にも盗難防止チェーンを取り付けております。

業務において書類等を外部に携帯する場合は、持ち出す情報を最小限にすること、個人が特定できないように工夫を行うこと、自転車に盗難防止の袋を取り付けることなどを日常的に行いました。

事務所内においては、ファックス送信時は必ず2人で送信先を確認する。通所介護のお客様記録書はスタッフ・生活相談員でダブルチェックをする。手渡しや郵送する書類は日付・場所・対応者がわかるようにしてダブルチェックを行いました。

職員全員が、貴重な個人情報を取り扱っているという緊張感を常に持って、日々業務にあたり、今年度情報漏れ事故はありませんでした。

#### キ 情報公開への取組について

法人で定めた情報公開規程に則り、情報公開請求があった場合には、適切な対応ができるように整備しております。今年度は1件の情報開示請求があり、規定に則り対応いたしました。

また、法人本部やケアプラザではホームページを活用して、各種事業に関する情報や運営について広く情報を公開しました。

#### ク 環境等への配慮及び取組について

日常的にごみの削減・分別・コピー用紙の裏面使用等に取り組み、横浜市のごみの削減事業に協力しました。

多くの参加者が集うケアプラザまつりや各事業の際には、公共の施設として、参加者の皆様にごみの削減や資源を大切に使うことなどをアピールしました。

日頃から不要の電灯を消すなどの節電や節水に心がけ、エアコンの設定温度にも気を配る等の省エネルギー対策にもしっかりと取り組みました。

また、ケアプラザ周りの植栽の水やりや手入れを行い、地域の皆様に楽しんでいただきました。

## 介護保険事業

### ● 介護予防支援事業

#### 《職員体制》

兼務	地域包括支援センター	保健師担当看護師	1名
		主任ケアマネジャー	1名
		社会福祉士	1名
兼務	非常勤職員	介護支援専門員	3名

#### 《目標》

- ご利用者の自立に向けた目標指向型のケアプランを作成します。サービスの導入にあたっては、実現可能な目標の設定を行い、振り返りを行いました。
- 要支援1・2の既成サービスに該当しない方については、地域包括支援センターや地域活動交流の事業などと協力して地域で行っているサービスを紹介しました。特に独居の方や高齢夫婦の見守りや訪問は、介護保険以外でも他の職種と協力して行いました。

#### 《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 担当者もしくは居宅介護支援事業所の介護支援専門員が、通常のサービス提供地域を超えて訪問する際には、重要事項の説明にそって、交通費の実費をいただくことになっておりますが、今年度は対象となる方はいませんでした。

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 要支援者・二次予防事業の参加者を対象として、介護予防コーラスや24年度には新たに「コーラス」と「フラダンス」を開始し、多くの参加者を得ました。
- 地域包括支援センター3職種が、それぞれに専門性を持ちながら共通認識を持って対応できるように、所内にて定期的に会議を行いました。日常的に情報交換を行い、協力体制を敷いて、個別ケースを多面的、総合的に解決できるように取り組みました。

#### 《利用者数》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
145	151	154	160	162	159
10月	11月	12月	1月	2月	3月
160	164	159	154	151	152

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

	管理者（介護支援専門員兼務）	1名
常勤	介護支援専門員	2名
非常勤兼務	介護支援専門員	3名

《目標》

- 在宅生活を支援します  
ケアプランの作成にあたっては、利用者の心身の状態や置かれた環境等に応じて、可能な限り住み慣れた地域で自立した生活が営めることを目指し、対応しました。
- 公正中立な立場に立ってのサービス調整をします  
行政機関や保険・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体等の多様な、ご本人にとっても適していると思われる事業所の中から総合的かつ効率的にサービスが提供されるように、公正中立な立場に立って調整を行い、ケアプランを作成しました。
- 資質の向上に努めます  
地域ケアプラザにおいては職員の資質の向上を図るために、毎週、伝達会議を実施、また、年間計画を立てて研修を行い、自立支援に資するケアプランが作成できるように努めました。  
日々の業務の中からも互いに学びあい、全員がケアマネジャーとしてお客様から信頼いただけるように研修会に積極的に参加しました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

通常のサービス提供区域以外の地域に訪問する必要がある場合は、事前に文書で説明を行い、支払いに同意、押印をいただいた上で実費をお支払いいただくことになっておりますが、24年度は対象となる方はいらっしゃいませんでした。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 質の高いケアマネジメントを提供する「特定事業所加算Ⅱ」を取得する事業所として登録をしており、24時間365日、相談を受けられる体制を整え、伝達会議を毎週行い、職員全員の質の向上を図りました。
- 地域包括支援センターとの連携を深めて、複雑な問題を抱えたお客様の支援にも取り組み、問題の解決を図るために適切なケアプラン作成に努めました。常にお客様お一人ひとりに丁寧に向き合い、迅速に、きめ細かな支援を行いました。

《利用者人数》

【単位：人】

4	5月	6月	7月	8月	9月
72	76	76	73	74	75
10月	11月	12月	1月	2月	3月
77	78	79	77	80	81

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 通所介護計画書の作成・生活指導（相談援助等）・機能訓練（日常動作訓練）介護サービス（移動や排泄の介助、見守りなど）・健康状態の確認・送迎・食事・入浴などのサービスを提供いたしました。また、ご希望に応じて個別機能訓練や口腔機能向上のためのプログラムを実施しました。
- 通所介護サービス計画の作成にあたっては、ご利用者やご家族の意思を尊重し、心身の状況、その置かれている生活環境等に応じて、ご利用者が自立した日常生活を営むことができることを目的としました。また、計画の作成、評価にあたっては必要に応じてご利用者への聞き取りや、お宅への訪問を行い、状況調査を実施しました。
- サービス提供にあたっては、介護支援専門員や関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス、ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めました。要介護状況の軽減もしくは悪化の防止、又は要介護状態にならないように十分配慮してサービスの提供に努めました。
- 24年度からのサービス提供時間の延長に伴い、お客様に選択して頂ける少人数対象のプログラムを充実させ、提供致しました。
- 日常生活動作の維持・向上を目的とした個別機能訓練加算(Ⅱ)の算定を年度途中から開始しました。日常生活における課題を解決することを目的に、少人数で機能訓練を行いました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

(要介護1)	728円	(要介護4)	1,121円
(要介護2)	855円	(要介護5)	1,253円
(要介護3)	988円		

● 加算

サービス提供体制強化加算(Ⅱ)	7円
入浴加算	53円
個別機能訓練加算(Ⅱ)	53円
介護職員処遇改善加算	1か月のご利用単位数の1,000分の19に相当する単位数の料金

● 食費負担 650円

《事業実施日数》 週6日（月曜日～土曜日）

※年末年始（12月29日～1月3日を除く） 合計307日

《提供時間》 9:40 ～ 16:45

《職員体制》

管理者	1名
生活相談員	3名
看護職員	6名
介護職員	22名
機能訓練指導員	6名（看護職員兼務）
調理員	6名
ドライバー	6名

《目標》 24年度は下記の目標に向けて全員が取り組みました。

- 自立支援の観点から、お客様一人ひとりの目的に合わせたサービスを提供致しました。
- お客様が安全に、リラックスしてお過ごしいただける雰囲気づくりに努めました。
- お客様やご家族からのご要望には真摯に耳を傾け、信頼関係づくりに努めました。
- 職員・スタッフには、介護に関する知識や技術の向上の為、計画的に研修を行い、また、自己研鑽を支援いたしました。
- 地域包括支援センター、居宅介護支援事業所との連携を密に図り、お客様、ご家族様のニーズにあった適切なサービスを迅速に提供しました。

- 美味しいお食事の提供の他に、お客様の状態にあわせた個別機能訓練を実施し、心身ともに元気に過ごして頂きました。
- 地域活動交流事業との連携により、お客様のニーズに沿ったサービスプログラムを検討し、実施致しました。
- 個人情報取り扱いに対する意識を全員がしっかりと持ち、管理の徹底を行いました。
- 介護保険法を遵守し、業務を行いました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- さらなる個別対応の取組み
  - ・お客様一人ひとりの能力、生活状況に応じて自立支援の観点から支援を行いました。
  - ・個別機能訓練計画書に掲げた目標の達成を目指して、機能訓練指導員を中心に機能訓練を行い、定期的に評価を行い、目標の達成を図りました。
  - ・お食事前の嚥下体操、食後の口腔ケアはお客様のほぼ全員に行い、口腔内の健康と嚥下能力の維持に努め、安全においしく召し上がっていただきました。
  - ・書道、折り紙、塗り絵、カラオケ、麻雀、脳トレなど、お客様の心身の活性化につながるプログラムをご自身で選択して、楽しく行っていただきました。
  - ・季節感を感じて頂けるような年間行事の他、ホットプレートを使用した調理、シルバー体操指導員をお招きしてのリハビリ体操、近隣への戸外機能訓練など、機能訓練の要素を盛り込んだ楽しいプログラムを実施いたしました。
- 入浴
  - ・ゲルマニウム温浴で温泉気分を楽しんで頂くとともに、季節行事として、しょうぶ湯、ゆず湯を楽しんで頂きました。
- お食事
  - ・厨房スタッフが栄養バランスを考えた献立を作成し、季節の味覚を取り込んだボリューム満点の美味しいお食事を提供いたしました。
  - ・お誕生日週間には、おやつに和菓子や洋菓子を全国各地から取り寄せて、様々な味を楽しんで頂きました。
  - ・お客様皆様に美味しいと言ってもらえるように、同一法人の他のケアプラザとも連携を深め、献立の情報交換などを行い、さらにおいしい食事が提供できるように精進しました。
- スタッフ教育
  - ・ナース会議、スタッフ会議、厨房会議を実施し、情報を共有するとともにより良いサービスを提供できるように話し合いを行いました。
  - ・スタッフ一人ひとりが自分で考え行動できるように、必要な知識（個人情報保護、接遇マナー、倫理について、事故防止など）や介護技術の向上のための研修、自主勉強会等を年間研修計画を作成して、計画的に実施いたしました。また、必要なお客様に関しては、随時カンファレンスを行いました。
- 関係機関・地域連携
  - ・地域包括支援センター、居宅介護支援事業所と常に情報交換を行い、お客様のニーズ・身体状況等にあった適切なサービスが迅速に提供できるように努めました。
  - ・地域の皆様（民生委員など）や各居宅介護支援事業所にケアプラザのデイサービスを知って頂けるように、PR等に取り組みました。

《利用者数（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
629	658	653	677	657	592
10月	11月	12月	1月	2月	3月
628	572	554	537	512	561

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 介護予防通所介護計画の作成、生活指導（相談援助等）、機能訓練（日常動作訓練）介護サービス（移動や排泄の介助、見守り等）、健康状態の確認・送迎・食事・入浴についてのサービスを提供します。また、ご希望に応じ、運動器機能の向上や口腔機能向上のためのプログラムを実施しました。  
介護予防通所介護サービス計画の作成にあたっては、お客様の気持ちを尊重し心身の状況、その置かれている環境等に応じて、お客様が自立した日常生活を営むことができるように配慮を行いました。
- サービス提供にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス・ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努め、要介護状況の軽減もしくは悪化の防止に配慮致しました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要支援1）	2, 213円
サービス提供強化加算（2）	26円
（要支援2）	4, 432円
サービス提供強化加算（2）	51円

● 加算

運動器機能向上加算	236円
口腔機能向上加算	159円
複数実施加算	506円
介護職員処遇改善加算	1か月のご利用単位数の1,000分の19に相当する単位数の料金

● 食費負担

650円

《事業実施日数》 週6日（月曜日～土曜日）

※年末年始（12月29日～1月3日を除く） 合計307日

《提供時間》 9：40 ～ 15：45

《職員体制》

管理者	1名
生活相談員	3名（兼務）
看護職員	6名（兼務）
介護職員	22名（兼務）
機能訓練指導員	6名（看護職員兼務）
調理員	6名（兼務）
ドライバー	6名（兼務）

《目標に対する取組状況》

お客様お一人ひとりの心身の特性、生活状況を踏まえ、その有する能力に応じ、自立した生活を行えるように様々なサービスを提供しました。また、サービスの提供にあたっては、サービス担当者会議等の検討により援助方針を決定し、お客様のニーズに合わせた計画を立てて実施いたしました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

● さらなる個別対応の取り組み

- ・ お客様一人ひとりの能力、生活状況に応じた援助を行いました。
- ・ 運動器機能向上計画書をもとに、目標の達成を目指して機能訓練指導員が機能訓練を行い、体力チェック、計画の評価を定期的に行いました。
- ・ お食事前には嚥下体操、食後には歯磨き指導を行ない、安全に美味しくお食事を召し上がって頂きました。  
口腔内の健康と嚥下能力の維持のため、口腔ケアを行ないました。



- ・書道、折り紙、塗り絵、カラオケ、麻雀、脳トレなど、お客様の心身の活性化につながるプログラムを選択して行って頂きました。
- ・ホットプレートを使用した調理、シルバー体操指導員をお招きしてのリハビリ体操、近隣への外出（戸外機能訓練）など機能訓練の要素を盛り込んだプログラムを実施しました。また、初詣、盆踊り、運動会など季節に合わせた行事を実施し、楽しんでいただきました。

●入浴

- ・ゲルマニウム温浴で温泉気分を楽しんで頂くとともに、季節行事として、しょうぶ湯、ゆず湯を楽しんで頂きました。

●お食事

- ・厨房スタッフが栄養バランスを考えた献立を作成し、季節の味覚を取り込んだボリューム満点の美味しい食事を提供致しました。
- ・お誕生日週間には、おやつに和菓子や洋菓子を全国から取り寄せて、バラエティー豊かな味を楽しんで頂きました。
- ・お客様皆様に美味しいと言っていただけるように、法人内の地域ケアプラザと情報交換を行い、新しい献立にも挑戦し、召し上がっていただきました。

●スタッフ教育

- ・ナース会議、スタッフ会議、厨房会議を定期的実施し、情報を共有するとともに、より良いサービスを提供するために話し合いを行い、サービスの質の向上に役立てました。
- ・全員がチームワークを大切に素早い「報告・連絡・相談」を心掛け、業務にあたりました。
- ・スタッフ一人ひとりが自分で考え、行動できるように必要な知識（個人情報保護、接遇マナー、倫理について、事故防止など）や介護技術の向上のための研修、自主勉強会を年間研修計画を作成して、計画的に実施致しました。必要なお客さまに関しては随時カンファレンスを行いました。

●関係機関・地域連携

- ・地域包括支援センター、居宅介護支援事業所と連携を密に図り、お客様のニーズ・身体状況等にあった適切なサービスが迅速に提供できるように努めました。また、お申し込みに関しても、スムーズにサービス開始ができるように迅速に受け付けを行いサービスを開始しました。
- ・地域の皆様（民生委員など）や各居宅介護支援事業所に当地域のケアプラザのデイサービスでの取り組みを知って頂けるように、地域の集まりなどに赴きPR等を行いました。

《利用者数（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
20	17	16	16	16	16
10月	11月	12月	1月	2月	3月
16	15	13	13	15	15

● 認知症対応型通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 認知症対応型通所介護計画の作成、生活指導（相談援助等）、機能訓練（日常動作訓練）、介護サービス（移動や排泄の介助、見守り等）、健康状態の確認・送迎・食事・入浴についてのサービスを提供いたしました。また、ご希望に応じて、個別機能の向上や口腔機能向上のプログラムを実施しました。お客様の生活状況等を踏まえて、お一人ずつ個別のプログラムを実施し効果を上げました。
- 認知症対応型通所介護計画の作成にあたっては、要介護状態の維持・改善を目的とし、お客様のご希望を尊重し、心身の状況、その置かれている生活全般の環境に応じて、お客様が自立した日常生活を営むことができるよう配慮しました。そのため、ご自宅での生活に役立ちそうな情報、ご家族の介護負担の軽減につながりそうな情報などをお客様やご家族様に提供しました。
- サービス提供にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス・ボランティア団体等との綿密な連携を図り、質の向上に努めました。
- 平成24年4月から、サービス提供時間を延長いたしました。個別プログラムの充実を図るとともに、ご家族の介護負担の軽減にも配慮いたしました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要介護1）	1, 098円
（要介護2）	1, 217円
（要介護3）	1, 336円
（要介護4）	1, 455円
（要介護5）	1, 575円

● 加算

入浴加算	54円
個別機能訓練加算	29円
口腔機能向上加算	160円
若年性認知症利用者受入加算	64円
サービス提供体制強化加算（I）	13円
介護職員処遇改善加算（I）	1か月のご利用単位数の1,000分の29に相当する単位数の料金

● 食費負担 650円

《事業実施日数》 週 6 日（月曜日～土曜日）  
 ※年末年始（12月29日～1月3日）を除く 合計307日

《提供時間》 9：40 ～ 16：45

《職員体制》

管理者	1名
生活相談員	2名
看護職員	5名（兼務）
介護職員	18名（兼務）
機能訓練指導員	5名（看護職員兼務）
調理員	6名（兼務）
ドライバー	6名（兼務）

《目標に対する取組状況》

お客様お一人ひとりの心身の特性や生活状況を踏まえ、自立支援、介護者の介護負担の軽減などの観点からサービスを提供しました。また、サービスの提供にあたっては、サービス担当者会議等での検討により、対応方針を細かく丁寧に決定し対応しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- さらなる個別対応の取り組み
  - ・少人数制でアットホームな雰囲気の中でサービス提供をいたしました。
  - ・個別機能訓練は計画書をもとに、お客様お一人ずつの目標達成を目指して、機能訓練指導員が個別に機能訓練を行いました。
  - ・お食事前にはスタッフによる嚥下体操、食後には歯磨き指導を行ない、安全に美味しくお食事を召し上がって頂けるように取り組みました。必要な方には口腔ケアを行い、口腔内の健康と嚥下能力の維持に努めました。
  - ・脳トレ、書道、折り紙、塗り絵、おやつ作りなど、お客様の心身の活性化につながるようなプログラムを充実させ、お客様に選択して頂き実施いたしました。
  - ・機能訓練を兼ねて、お客様個人の目標に合わせた戸外機能訓練や季節感を取り入れた夏祭りや運動会などの行事を行いました。
- 入浴
  - ・ゲルマニウム温浴で温泉気分を楽しんで頂くとともに、季節行事として、しょうぶ湯、ゆず湯を楽しんで頂きました。入浴の際は、一人ずつスタッフが付き添いで誘導を行い、安全には十分な配慮をいたしました。
- お食事
  - ・厨房スタッフが栄養バランスを考えた献立を作成して、提供いたしました。毎月、テーマを決めて、季節の味覚を取り入れた手作りでボリューム満点の美味しい食事を提供いたしました。
  - ・お誕生日週間には、おやつに様々な和菓子や洋菓子を全国から取り寄せて、ひと味違う珍しい味覚を楽しんで頂きました。
  - ・お客様の状態に合わせて、ミキサー食などの食事を提供しました。
- スタッフ教育
  - ・定期的にスタッフ会議を開催し、情報共有や研修などを行って、より良いサービスが提供できるように努めました。
  - ・全員がチームワークを大切に「報告・連絡・相談」を意識し、業務にあたりました。
  - ・スタッフ一人ひとりが必要な知識を得、介護技術の向上が図れるように、年間の研修計画を作成して、計画的に研修を実施しました。
- 関係機関・地域連携
  - ・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所と連携を図り、お客様のニーズ・身体状況等にあった適切なサービスが迅速に提供できるように努めました。
  - ・地域の皆様（民生委員など）やあけぼの会の方、各居宅介護支援事業所に当事業を知って頂けるように、PR等に取り組みました。

《利用者数（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
112	107	121	142	164	167
10月	11月	12月	1月	2月	3月
209	186	161	149	162	185

● 介護予防認知症対応型通所介護事業

《提供するサービス内容》

- 介護予防認知症対応型通所介護計画の作成、生活指導（相談援助等）、機能訓練（日常動作訓練）、介護サービス（移動や排泄の介助、見守り等）、健康状態の確認・送迎・食事・入浴についてのサービスを提供します。また、ご希望に応じ、個別機能や口腔機能向上のためのプログラムを実施しました。
- 介護予防認知症対応型通所介護サービス計画の作成にあたっては、お客様の意思を尊重し、心身の状況、その置かれている環境等に応じて、お客様が自立した日常生活を営むことができるよう配慮します。必要に応じてお客様宅を訪問の上、状況調査を行いました。
- サービス提供にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス・ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努め、要介護状況の軽減もしくは悪化の防止に十分配慮してサービスを提供いたしました。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要支援1）	949円
（要支援2）	1,061円

● 加算

入浴介助	53円
個別機能訓練加算	29円
口腔機能向上加算	159円
若年性認知症受入加算	64円
サービス提供体制強化加算（I）	13円
介護職員処遇改善加算（I）	1か月のご利用単位数の1,000分の29に相当する単位数の料金

● 食費負担

650円

《事業実施日数》 週6日（月曜日～土曜日）

※年末年始（12月29日～1月3日を除く） 合計307日

《提供時間》 9：40 ～ 15：45

《職員体制》

管理者	1名
生活相談員	2名
看護職員	5名
介護職員	18名（兼務）
機能訓練指導員	5名（看護職員兼務）
調理員	6名（兼務）
ドライバー	6名（兼務）

《目標に対する取組状況》

お客様お一人おひとりの心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じ、自立した日常生活が営めるようにサービスを提供しました。また、サービスの提供にあたっては、サービス担当者会議等の検討により支援方針を決定し、実施いたしました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

● さらなる個別対応の取り組み

- ・ 少人数制のアットホームなデイサービスを目指しました。
- ・ お客様一人ひとりの能力、生活状況に応じた援助を行いました。
- ・ 個別機能訓練計画書をもとに、目標の達成を目指して機能訓練指導員が機能訓練を行いました。
- ・ 看護職員によりお食事前には嚥下体操、食後には歯磨き指導を行ない、安全に美味しくお食事を召し上がって頂けるように取り組みました。

- ・脳トレ、書道、折り紙、塗り絵など、お客様の心身の活性化につながるプログラムを行いました。
- ・お客様の目標に合わせたリハビリ体操など機能訓練の要素を盛り込んだプログラムを実施しました。
- 入浴
  - ・ゲルマニウム温浴で温泉気分を楽しんで頂くとともに、季節行事として、しょうぶ湯、ゆず湯を楽しんで頂きました。
- お食事
  - ・厨房スタッフが栄養バランスを考えた献立を作成して調理いたしました。毎月テーマを決めて、季節の味覚を取り込んだ手作りでボリューム満点の美味しい食事を提供いたしました。
  - ・お誕生日週間には、おやつに全国の珍しい和菓子や洋菓子を取り寄せて、いつもとは少し違う特別な味を楽しんで頂きました。
  - ・お客様に美味しいと言っていただけるようにスタッフ全員が精進いたしました。
- スタッフ教育
  - ・定期的に、ナース会議、スタッフ会議、厨房会議を実施し、情報を共有するとともにより良いサービスを提供できるように話し合いを行いました。
  - ・全員がチームワークを大切に「報告・連絡・相談」を意識し、事故のないように、明るく楽しく業務にあたりました。
  - ・スタッフ一人ひとりが自分で考え、行動できるように必要な知識や介護技術の向上のための研修など、年間研修計画を作成のうえ、計画的に実施しました。
- 関係機関・地域連携
  - ・地域包括支援センター、居宅介護支援事業所と連携を密に図り、お客様のニーズ・身体状況等にあった適切なサービスが迅速に提供できるように努めました。
  - ・地域の皆様（民生委員など）や西区あけぼの会の方、各居宅介護支援事業所に、当地域のケアプラザのデイサービスを知って頂けるようにPR等に努めました。

《利用者数（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
0	0	0	0	1	0
10月	11月	12月	1月	2月	3月
0	0	0	0	0	0

## 地域ケアプラザ

### 1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

- 高齢者、障害者、こども等の幅広い相談に対し、それぞれの職種の専門性を活かし、関係機関とのネットワークを活用し課題解決のため総合的に情報提供を行いました。
- 地域の抱える課題、ニーズ、特徴を把握し、地域包括支援センターならではの各職種が協働して迅速に対応いたしました。
- 西区役所で行われている「ケアプラザ会議」「包括の担当者会議」及び「月1回の定例カンファレンス」を活用して幅広く情報を得て、さまざまな内容の相談に対して、より良い解決を図ってまいりました。

### 2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

地域ニーズも日々変わり行くものであるという事を常に意識し、地域の生活者の視点を忘れず、コーディネーターの地域をつなぐ力や地域包括支援センター3職種の専門性を活かし、チームで支援を行ってまいりました。  
地域包括支援センターが把握した様々な個別の課題（例：独居高齢者の支援）をコーディネーターと共に検討し、地域に伝え、地域で出来る支援体制作りや啓発事業を行いました。

### 3 職員体制・育成

- 事業ごとの専門に応じて一定の資格が必要であるため、それぞれの資格要件及び人員配置基準に従い職員を配置しました。  
また、全職員が自らの担当事業のみならず、地域全体を統括する地域ケアプラザの職員として、地域住民の多様な問合せに対応できるよう、情報の共有化と知識・技術の向上を目指した研修や会議を実施いたしました。  
それぞれが専門職としての力量を発揮し業務に取り組めるように、サービスの向上と専門性の向上が図れるように研修を実施しました。
- 法人本部・ケアプラザともに、それぞれ年間の研修計画を立てて、職種・階層ごとに計画的、効果的に研修を実施しました。
- 外部研修を活用し、職員の自己研鑽を支援いたしました。ご利用者や地域の皆様に、正しい専門知識と技術をもって対応できるように、会議の場などを活用してミニ研修も随時行いました。  
全職員がやる気を持って業務に専念できるような職場環境作りに努めました。

### 4 地域福祉のネットワーク構築

- 西区役所や地域の社会福祉協議会、民生委員児童委員会などの会議に出席し、ネットワーク構築のための下地作りに努めました。地域の抱えるさまざまな課題解決に向けて、各委員がそれぞれの役割を十分に発揮できるように支援しました。
- 関係者が役割を超えて連携することにより、よりよい解決が導けるように情報交換、ネットワーク作りに努めました。また、西区内の他の地域ケアプラザと連携・協力して、幅広い視点から地域の課題が解決できるように努めました。

### 5 区行政との協働

事業を立案する際は、第2期 西区地域福祉保健計画を意識し、計画に基づいた効果的な事業となるように努めました。各地域の目標達成に向け、ケアプラザ連絡会や地区別懇談会などの機会を活用し、西区役所や地域の皆様のご意見をいただきながら協力し、協働して地域福祉保健計画の実現を図ってまいりました。  
また、地区別計画の支援メンバーとして、区の担当職員とともに、地域住民が自ら居住する地域の福祉計画が実現できるように支援いたしました。

## 地域活動交流部門

### 1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- 地域との連携を深めるために、地区社会福祉協議会、自治会町内会、各地区民生委員会児童委員協議会等と積極的に関わり、地域の一員として共に取り組んでまいりました。積極的に地域に出向いて、地域の方々の抱える課題などの情報収集に努めました。
- 地域住民や自主事業参加者・貸室利用団体などへアンケートを実施し、ニーズや情報の把握に取り組みました。また、いただいたご意見は早急に改善いたしました。
- 「地域のためのケアプラザ」であることを、広く地域の皆様にご理解いただけるように事業やお祭りなどの様々な機会に情報発信を行いました。
- 自主事業や地域の情報等については、ケアプラザの地域版広報紙、ケアプラザ前の掲示板、ホームページ等、それぞれの対象者に合った方法で広く地域に発信し、効果をあげました。

### 2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

地域ケアプラザは地域の課題に関して包括的に取り組んでいく役割を担っています。その役割を効果的かつ有効に機能させていくためには福祉保健活動団体の協力を得ることが肝要となります。福祉保健活動団体の機能を強化し、さらに地域へ貢献ができるように、ケアプラザ内の貸室を広く地域の福祉保健団体へ貸し出して有効に活用していただけるようにPRを行い、24年度も多くの地域住民にご利用いただきました。ご希望の多い昼間時間帯では抽選により公平を期しました。

### 3 自主企画事業

自主事業の取り組みについては、23年度に実施した自主事業参加者へのアンケート内容や、地域のサロン等に出向いて実際にお伺いしたご意見を取り入れ、ニーズに合った事業展開をいたしました。

- 高齢者への対応  
地域包括支援センターと連携し、介護保険の周知・介護予防に重点をおいた事業を実施しました。閉じこもり防止のための仲間作りを目的として、介護予防の体操、男性向けの講座、高齢向けのフラダンスなど多くの事業を行いました。
- 乳児・幼児への対応  
子育てに関する課題や地域への要望等を支えあいネットワークを通して把握しました。その結果、子育ての仲間作り・親子の居場所作りを目的とした事業「みんなで遊ぼう」を関係団体と共に取り組み、多くの参加者を得ました。  
また、新たに、0歳児をもつ保護者を対象とした事業「ママ友倶楽部」を開始し、地域との繋がり作り・仲間作りを支援して、非常に好評でした。
- 団塊世代への対応  
退職後の居場所を作ると共に地域の担い手となる人材を発掘・育成するために、団塊世代を対象としたボランティア講座や人材育成のための事業「しなくちゃクッキング」「イケ麺‘S’」などに取り組みました。
- 障がい児者への対応  
近隣の障がい施設の利用者と共に「ゲーム大会」を実施し、事業を通して障がい者理解を深めました。  
また、自立支援協議会に参加し、ニーズの把握に努め、今後の事業に活かしていきたいと考えております。

#### 4 ボランティアの育成及びコーディネート

- 自主事業や通所介護サービスは、多くのボランティアの方々のご協力を得て順調に実施できております。現在登録中のボランティアの方には、情報ラウンジの開放、ボランティア同士の交流会の開催やネットワーク作り、また、いきいきポイント活動への参加などにより、ボランティア活動への意欲向上へとつなげて参りました。
- 地域ニーズに対応したさまざまな事業を円滑に進めていくために、ボランティア講座を開催して育成を図り、また自主事業の終了者をボランティア活動へとつなげてきました。また、地域版広報誌に「ボランティア紹介コーナー」を掲載して、ボランティア活動に関心を持ち、取り組んでいただけるように啓発しました。

### 地域包括支援センター

#### 1 総合相談

##### 総合相談支援（総合相談）

- 高齢者、障害者、子ども等幅広い相談に対し、3職種の専門性を活かし、ネットワークを活用し、課題解決のために総合的に情報提供を行い、適切に対応しました。
- 地域の抱える課題・ニーズ・特徴を把握し、地域包括支援センターならではの各職種が協働し、専門性を発揮して迅速に働きかけを行いました。
- 西区役所で行われている[ケアプラザ連絡会][包括の担当者会議]及び月1回の[定例カンファレンス]などを活用し、幅広く情報を得て、複雑な問題を抱えた相談内容の方でも連携、協働して解決へと取り組みました。
- みなとみらい地区へ、地域包括支援センターの周知を図る足がかりとするために「遅起きラジオ体操」を始めました。

##### 総合相談（実態把握）

- 潜在的なニーズ発掘と地域の実態把握のため「藤棚らいぶステーション」への出張相談を継続して行いました。
- 対象者の把握、マネジメントの遂行、的確なサービス提供のため、地域の民生委員や福祉保健団体関係者と顔の見える関係づくりを常日頃から心がけ、地域包括支援センターを広く周知し、協力が得られるように努めました。
- 地域ニーズの把握、発掘のために、地域に積極的に出向き、また、来館者の方々とも信頼関係の構築に努めました。

#### 2 権利擁護

##### 権利擁護（権利擁護）

- 地域のネットワークづくりとして、個別ケースを中心に関係機関とのカンファレンスを随時行いました。
- サービスを選択、決定する際に、判断能力などの低下により権利の行使ができず制度活用ができない方々に対し、積極的に介入し、人権・権利を守る目的で必要な援助や支援を行いました。
- 西区役所・あんしんセンター・地域包括支援センターとの共催で、権利擁護について分かりやすく理解していただくために演劇仕立てにした啓発事業を実施しました。



### 権利擁護（高齢者虐待）

- 早期発見・虐待防止に向けての工夫等  
各事業所や西区役所とのネットワークを活用して、認知症高齢者世帯への支援や介護者支援などを行いました。
- 西区役所が主催する「高齢者権利擁護サポートネット」に参加し、事例やケースごとの処遇方法を共有、協働することにより、より良い解決方法を目指しました。
- 地域包括支援センターの役割を広く広報し、身近な相談機関として利用して頂けるよう取り組みました。
- 終了した事例の振り返りを行うことで、ノウハウを蓄積し、より適切な支援体制が整えられるようにしました。

### 権利擁護（認知症）

- 認知症になっても個人としての尊厳を保ち、地域で自分らしく安心して暮らしていけるように、地域住民が認知症を理解して、認知症高齢者を地域で支えていくための「認知症サポーター養成講座」を実施いたしました。
- 認知症の方を介護されているご家族のために、「あけぼの会」と連携し、介護者が不安なく介護を続けられるように「介護者の集い」を開催し、支援しました。
- 地域内の小学校と連携し、四年生向けに啓発・理解のための講座、ふれあい体験事業を実施しました。

## 3 介護予防マネジメント

### 二次予防事業対象者把握

総合相談やフラダンス等の自主事業、地域のお祭りでの「出張健康相談」で基本チェックリストを施行し、二次予防事業対象者の把握に努めました。対象者へは「にこにこしにあセミナー」などのケアプラザの事業へお誘いしました。また、プログラムの未利用者へは再アプローチを行い、二次予防事業対象者へも継続的にアプローチをしました。

### 介護予防ケアマネジメント力

ご自身で目標を考え、自分らしい日常生活を送る事が出来るように、支援計画表を作成しました。その中で「サービス種別欄」には介護保険サービスしか記入していない事がわかり、地域の食事会を始め、インフォーマルサービスの紹介に努め、ご利用いただきました。また、自宅で安全に生活できるように、介護予防に造詣の深い建築士を講師に招き、住宅改修の視点やアセスメントの勉強会を行いました。

## 4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

### 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- 日頃から、地区の民生委員・児童委員と顔の見える関係づくりをすすめ、個別ケースで連携を取りやすいように努めました。地域の方に寄り添った解決が図れるように、各種の地域行事に積極的に参加して協力し合える関係作りを行いました。
- 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務の年間計画については、西区内4地域ケアプラザ合同、あるいは区役所高齢支援課と合同で、評価・計画の見直しを行い、「ケアマネサロン」をより実践的な役立つものになりました。
- ケアマネジャーと地域の関係機関、インフォーマルサービスとの情報交換の場を設定し、地域のニーズや課題について共通認識を深めました。

### 医療・介護の連携推進支援

- 対象者の正確な情報を迅速に共有できるように、医療と介護の間に立ってコーディネートを行いました。
- 地域のニーズに基づき、各関係機関が意見交換できる機会を設けました。特に、介護保険事業所と医療機関、地域がお互いの専門性や役割を理解し、対象者の課題に向け、共通認識を持って解決にあたれるように「地域ケア会議」開催に向けての勉強会を行いました。
- エリア内の医療機関、介護支援事業所、インフォーマルサービスの一覧表を作成し、相談業務で役立てました。

### ケアマネジャー支援

- 地域のケアマネジャーの質の向上を目指し、ネットワーク作りのために西区ケアマネ研究会の役員会・定例会等に積極的に出席し、具体的な助言や支援を行いました。また、多くの個別相談を受けて、ケアマネジャーの育成に努めました
- 勉強会サロンを開催し、地域のケアマネジャーに情報交換の場や自己研鑽の機会を提供しました。24年度は業者任せになりがちな住宅改修を学ぶために勉強会を開催いたしました。
- 支援困難ケースには継続的にサポートを行い、緊急を要するケースには協働で迅速に対応しました。

## 介護予防事業

### 介護予防事業

地域の高齢者の現状把握に努めました。

- 「元気づくりステーション」の準備を行い、1か所開設を目指しました。
- 自主事業として要望の多かった「フラダンス」と「コーラス」を新規開催しました。
- 体力向上プログラム（にこにこしにあセミナー）は年2コース（1コース6回）を実施し、日常生活の中で介護予防活動を実践する方が増加するよう取り組みました。

## その他

地域にお住いの皆様が、互いに助け合い、支えあい、協力し合って、いきいきと暮らせる町づくりを、皆様とともに造っていきたいと考えております。笑顔であいさつを交わし、みんなができることを少しずつ行っていけるような地域になるよう、職員一人ひとりが各人の目標を持ち、笑顔を忘れずに職務を遂行いたしました。

# 平成24年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名: 戸部本町地域ケアプラザ

平成24年4月1日～平成25年3月31日

(単位: 千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護	認知症対応型 通所介護
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援				
収入	指定管理料収入	18,181	23,420	1,828					
	介護保険収入				8,898	15,816	75,433	9,589	29,816
	その他								
	補助金収入								87
	認定調査					608			
	応急備蓄	149							
	その他	414	38			27	721		29
	<b>収入合計(A)</b>	<b>18,744</b>	<b>23,458</b>	<b>1,828</b>	<b>8,898</b>	<b>16,451</b>	<b>85,743</b>		<b>29,932</b>
支出	人件費	10,951	18,301	1,506	3,648	12,851	47,899		18,391
	事務費	3,060	2,586			6,206	9,032		4,545
	事業費			322					
	管理費	6,443	1,712			6	5,855		1,573
	その他								
	施設使用料相当額						3,068		922
	他会計区分繰入					1,784	19,892		4,501
	<b>支出合計(B)</b>	<b>20,454</b>	<b>22,599</b>	<b>1,828</b>	<b>3,648</b>	<b>20,847</b>	<b>85,746</b>		<b>29,932</b>
	<b>収支(A) - (B)</b>	<b>-1,710</b>	<b>859</b>	<b>0</b>	<b>5,250</b>	<b>-4,396</b>	<b>-3</b>		<b>0</b>

介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

# 平成24年度 自主事業報告書

## 横浜市戸部本町地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護予防コーラス『にこにこ隊』	目的：介護予防・仲間づくり・交流の場の提供 内容：コーラス（童謡・唱歌など）	毎月第2・4月曜日 （全23回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おやじの時間	目的：介護予防・ボランティア育成・仲間づくり 内容：外出（企画などから）・語り合い・料理など仲間づくりや介護予防	毎月第4火曜日 （全12回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
若年性認知症ミニデイサービス『わたぼうし』	目的：若年性認知症の方への居場所づくり・社会参加の場・ご家族のレスパイトと支援 内容：介護予防体操・外出・昼食やおやつ提供などのミニデイサービス	毎月第3水曜日 （全12回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
遅起きラジオ体操in石崎川	目的：介護予防・健康増進・異世代交流 内容：ラジオ体操第1・2	毎週土曜日 （全46回）

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
遅起きラジオ体操inみなとみらい	目的：介護予防・健康増進・異世代交流 内容：ラジオ体操第1・2	毎月第1日曜日（6月～開始） （全7回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
家族介護者のつどい	目的：介護者同士の交流の場の提供 内容：茶話会・情報交換・介護者がリフレッシュするための講座など（年2回は『あけぼの会』と区役所との共催／うち1回は戸部本町地域ケアプラザデイサービスとの共催）	年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張相談会	目的：総合相談事業・ニーズ把握・ケアプラザの周知 内容：藤棚らいぶステーションでの相談会や地域のお祭りなどでの相談会	年13回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出前講座『よろずや戸部本町』	目的：介護予防・ニーズ把握・ケアプラザの周知 内容：老人会や高齢者食事会、町内会などの集まりに出向いての講座や講和・口腔体操などの介護予防	年11回

# 平成24年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
健康玉すだれ	目的：健康増進・介護予防・ボランティア育成 内容：南京玉すだれ	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防コーラス『歌の広場』	目的：介護予防・仲間づくり・交流の場の提供 内容：コーラス（童謡・唱歌など）	毎月第3火曜日（6月～開始） （全9回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
権利擁護事業『人生これから講座』	目的：権利擁護啓発事業 内容：区役所・区あんしんセンター・他地域包括支援センターとの共催にて、地域向け・民生委員向けの講座を実施（老いを楽しむ知恵袋・これって虐待！？気づきのポイント）	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
権利擁護事業『小学生のための高齢者・認知症理解』	目的：高齢者理解・認知症啓発・ケアプラザの周知・小学校との連携・異世代交流 内容：4回（事前・事後学習2回と触れ合い・高齢者疑似体験2回）／クラスの実施	年12回（4回／クラス×3クラス）

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
うつ病の理解と対応	目的：障害児者の理解とうつ病の啓発や理解・他機関との連携 内容：1回目は映画の上映による啓発／2回目は講師によるうつ病の対応と理解の講義	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障害児者余暇支援	目的：障害児者の余暇支援・他機関との連携 内容：自立支援協議会の余暇支援部会による余暇支援5回のうち2回参加（夏：バーベキュー、冬：餅つき）	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
にこにこしにあセミナー	目的：介護予防（体力向上プログラム） 内容：体操・口腔ケア・栄養改善など介護予防講座の実施	全12回（6回×2）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
らくらく健康ストレッチ	目的：介護予防・仲間づくり・交流の場の提供 内容：介護予防のためのストレッチや体操	毎月第2・4金曜日（全23回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ゆっくりフラダンス『ロケラニ』	目的：介護予防・仲間づくり・交流の場の提供 内容：介護予防・健康増進のためのフラダンス	毎月第1水曜日（全12回）

# 平成24年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネサロン	目的：西区にご利用者様を持っているケアマネジャーの質の向上、交流 内容：研修会、交流会	年10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
新人ケアマネ研修	目的：新人、就労予定のケアマネジャーのために業務に必要な知識の習得 内容：ケアマネジャー業務に必要な知識の研修、施設見学	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
しなくちゃクッキング	目的：男性の交流の場・介護予防・仲間づくり 内容：男性料理教室（第2週：調理・会食・交流／第4週：次月のメニュー決めと交流会／調理前日買い出し）	毎月第2・4火曜日と第2月曜日（全26回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
茶ばしらサロン	目的：閉じこもり防止・仲間づくり・介護予防 内容：手芸・工作・お菓子作り・体操などと茶話会	毎月第2・4水曜日（全22回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで遊ぼう	目的：子育て支援・親子の交流の場の提供 内容：第2週はプレイルームの解放、第4週はイベントの実施（講演会や読み聞かせ、体操プログラムなど）	毎月第2・4木曜日（全22回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママ友倶楽部	目的：子育て支援・親子の交流の場の提供 内容：0歳児とその保護者の仲間づくりのプログラムと交流会（ベビーヨガ・ベビーマッサージ）	毎月第1火曜日（6月～開始）（全8回）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママ育講座	目的：子育て支援・親子の交流の場の提供 内容：子育て支援拠点『スマイルポート』との共催による、0歳児とその保護者の仲間づくり・地域参加支援のプログラム	年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育て支援講演会	目的：子育て支援・親子の交流の場の提供・プレママ、パパの育成 内容：講師による講演会	年1回

# 平成24年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いざという時のためにパパ向け救急法	目的：子供の救急法の講演会 内容：区役所との共催による乳幼児の保護者（パパ）向けの救急法の講演会と体験	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子で楽しくお味噌を作ろう	目的：食育・仲間づくり・親子の交流支援 内容：味噌作り・交流・会食	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
イケ麺'S	目的：団塊の世代の仲間づくり・ボランティア育成 内容：そば打ち講座を通してのボランティア育成・支援	毎月第4土曜日 (全12回)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
コミュニティーキッチン5	目的：異世代交流 内容：支え合い連絡会から発足した異世代交流会（カレーの会食会）	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
秋の夜長はヨガ講座	目的：交流の場の提供・仲間づくり・介護予防 内容：ヨガ教室	年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
手足ぼっかばかヨガ	目的：交流の場の提供・仲間づくり・介護予防 内容：ヨガ教室	年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
10周年記念戸部本町地域ケアプラザまつり	目的：ボランティアの育成・異世代交流・各団体の交流 内容：おまつり（模擬店・演技発表・健康づくり・子ども交流）	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア交流会	目的：交流の場の提供・ボランティアニーズの把握・仲間づくり 内容：戸部本町地域ケアプラザに登録しているボランティアの交流会と職員による感謝会（会食と交流会）	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉用具展示・紹介・相談	目的・内容：福祉用具展示・紹介・相談	通年

## 平成24年度 自主事業収支報告書

事業名	主な対象	自主事業決算額					
	延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
ケアマネサロン	ケアマネジャー	10,381	10381	0	0	10,381	0
	291人						
	なし						
しなくちゃクッキング	60歳以上	50201	8101	42100	0	50201	0
	179人						
	300～400円						
ゆっくりフラダンス「ロケラニ」	地域住民	61131	36831	24300	61131	0	0
	82人						
	300円						
みんなで遊ぼう	乳幼児親子	48774	28774	20000	48774	0	0
	907人						
	100円						
らくらく健康ストレッチ	65歳以上	42000	3200	38800	0	42000	0
	203人						
	200円						
手足ぽっかぽかヨガ	20歳以上女性	16456	4456	12000	13364	0	3092
	40人						
	300円						
秋の夜長はヨガ教室	地域住民	27017	4817	22200	13332	0	13685
	74人						
	200円						
ママ友倶楽部	0歳児親子	49161	12561	36600	49161	0	0
	244人						
	0～300円						
茶ばしらサロン	地域住民	94974	24674	70300	42255	52719	0
	419人						
	200円						
イケ麺's	地域男性	0	0	0	0	0	0
	186人						
	0円						
コミュニティキッチン5	地域住民	29187	17387	11800	5000	19759	4428
	107人						
	200円						
子育て講演会	乳幼児親子	22555	10755	11800	5555	0	17000
	47名						
	1000円						
第10回戸部本町ケアプラザ祭り	地域住民	175914	175914	0	0	175914	0
	929人						
	0円						
親子で楽しくお味噌を作ろう	小学生親子	31240	16240	15000	0	31240	0
	39名						
	1000円						
ボランティア交流会	ボランティア	25810	25810	0	0	25810	0
	107名						
	0円						
親父の時間	中高年男性	2240	2240	0	0	2240	0
	20人						
	0円						



## 平成24年度 自主事業収支報告書

事業名	主な対象	自主事業決算額					
	延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
障がい児者余暇支援	障がい児者	6603	6603	0	0	6603	0
	83人						
	0円						
パパ向け救急法講座	乳幼児養育者	0	0	0	0	0	0
	51人						
	0円						
ママ育講座	乳幼児養育者	0	0	0	0	0	0
	26人						
	0円						
わたぼうし	若年認知症の方	49287	16087	33200	0	0	49287
	108人						
	500円/参加者・200円/ボランティア						
介護予防コースにこにこ隊	65歳以上の方	23296	23296	0	0	0	23296
	441人						
	0円						
遅起きラジオ体操	地域住民	24080	24080	0	0	0	24080
	569人						
	0円						
遅起きラジオ体操みなとみらい	地域住民	6880	6880	0	0	0	6880
	81人						
	0円						
介護者のつどい	家族介護者	27091	26091	1000	0	0	27091
	52人						
	0円						
歌の広場	65歳以上の方	11136	7436	3700	0	0	11136
	142人						
	0円						
出張相談会	地域住民	0	0	0	0	0	0
	179人						
	0円						
出前講座 よろずや戸部本町	地域住民	0	0	0	0	0	0
	480人						
	0円						
福祉機器展示	地域住民	0	0	0	0	0	0
	162人						
	0円						
健康玉すだれ	地域住民	0	0	0	0	0	0
	3人						
	0円						
管理擁護事業 小学生のための高齢者・認知症理解	小学4年生	0	0	0	0	0	0
	374人						
	0円						
権利擁護事業 人生これから講	地域住民	0	0	0	0	0	0
	79人						
	0円						
うつ病の理解と対応	地域住民	0	0	0	0	0	0
	20人						
	0円						
新人ケアマネジャー研修	新人ケアマネ	0	0	0	0	0	0
	11人						
	0円						